

神戸大学ヨット部 News Letter



目次

- ・ 関西学生ヨット選手権大会結果報告
- ・ 関西インカレ所感

はじめに

お世話になっております。神戸大学ヨット部広報の西山です。

秋冷の候、OB・OGの皆さまにおかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

このたび、10月に開催されました関西学生ヨット選手権大会において、470級・スナイプ級の両クラスで25年ぶりとなる全日本インカレ出場枠を獲得いたしました。これもひとえに、日頃より温かいご支援・ご声援を賜っているOB・OGの皆さまのおかげと、部員一同、心より感謝申し上げます。本号では、関西インカレの結果および部員の所感を掲載しております。ぜひ最後までお読みいただけますと幸いです。

関西学生ヨット選手権大会結果報告

470級(全18艇)7R実施

6チーム中3位 191点

5位4815 市川④稲岡②54点

7位4801 続③酒井③60点

13位4741太田③下山③77点

総合成績3位 神戸大学 421点

スナイプ級(全19艇)7R実施

6チーム中4位 230点

3位31493 大島③川瀬④ 46点

15位31730浅井③澤本② 92点

16位31367寺岡④岩田③ 92点

詳しい成績は、こちらのサイトからご確認ください。→ [関西学生ヨット選手権大会結果](#)

関西インカレの所感



4回生/470スキッパー市川太陽

お世話になっております。神戸大学体育会ヨット部 主将の市川です。このたび、私たち神戸大学ヨット部は25年ぶりに関西インカレで両クラス（470級・スナイプ級）ともに全日本インカレ出場を決めることができました。

1年間この目標を掲げて活動してきたため、部員一同、非常に嬉しく思っております。ここまで活動が続けてこられたのは、日頃からご指導くださる監督・コーチの皆様、そして金銭面や応援で支えてくださるOB・OG、保護者の皆様のおかげです。心より感謝申し上げます。

関西インカレを振り返ると、特に印象に残っているのは第4レースのトップホーンです。1位でフィニッシュしたはずの後輩・続艇がUFDで失格となり、2番目にフィニッシュした自艇にトップホーンが鳴ったときの、あの複雑な感情は今も忘れられません。

悔しさも含め、この経験を全日本インカレにつなげていきたいと思えます。全日本インカレでは、全日本個人戦で学んだビッグフリートでの戦い方を存分に発揮し、強豪校に食らいつけるよう全力を尽くします。引き続きご声援のほど、よろしくお願いいたします。

関西インカレの所感



4回生/スナイプクルー 川瀬翔大

お世話になっております。4回生スナイプクルーの川瀬翔大です。

関西インカレは、私にとってこれまでの集大成となるレースでした。

前日のレース前チェックでは、丸一日をかけて計測・ネジ締め・艇内の状態確認を抜けなく行い、万全の準備を整えました。

当日は、「ストレスフリーかつ適切な助言を与えるクルーであること」を目標に臨みました。スキッパーの大島とともに、前向きな言葉がけや積極的なコミュニケーションを心がけ、良い艇内環境づくりにも努めました。レース中は、常にボートバランス・動作・セイルシェイプをその時の風に合わせながら、逆海面の状態やブローの位置、風向の変化など、コース引きに必要な情報を適切なタイミングで伝えることを意識しました。また、他艇との位置関係やジュリー、マーク、レイラインの状況を把握し、ケースや自滅を防ぐよう冷静に対応しました。その結果、大きなトラブルもなく、すべてのレースで自分たちらしい展開ができました。目標としていた個人成績5位を上回る3位という結果を残し、チームにも貢献できたと感じています。

残りの一ヶ月でさらにレベルアップし、全日本インカレでも爪痕を残せるよう精進します。

関西インカレの所感

4回生/スナイプスキッパー 寺岡滉一郎



お世話になっております。4回生スナイプスキッパーの寺岡滉一郎です。今回の関西インカレは、自艇は走らずチームメイトに助けられる形にはなりましたが、全日本への切符を手にすることができ、嬉しく思います。これまでご支援ご声援いただいた全ての関係者の皆様に感謝申し上げます。

私自身としましては、帆走スピードやコース力など、多くの項目で他艇より劣っていると実感しました。こまめにフレの入る海面でタックポイントの判断を適切に出来ず、艇速が良くないにも関わらず中に入ってしまった、順位を落とすことが多かったように感じました。全日本インカレまでの練習は非常に少なく、経験したことの無い70艇以上のビッグフリートに出場する事になります。全日本インカレ程ではないものの蒲郡で経験した、艇が多い中での走り方を、江ノ島でも生かすことができるよう頑張ろうと思います。

チームとしては、これまで以上に入念に準備をし、関西インカレでの良かった動きを継続、また更に良い動きをできるように、一丸となって取り組んで参ります。残りわずかとはなりますが、ご支援ご声援の程、お願いいたします。

関西インカレの所感

3回生/スナイプスキッパー 浅井建人



お世話になっております。

3回生スナイプスキッパーの浅井建人です。

関西インカレ突破という目標で1年間練習をし、達成する事ができました。

しかし個人で見れば、良い成績を出せずチームの足を引っ張ってしまう形になりました。なので素直に喜べないというのが今の心境です。変に周りを見てスピードに集中できない悪循環があり、メンタル面でも技術面でも不十分な点が多々ありました。

来年の関西インカレでは団体成績に貢献できるよう江ノ島での経験を糧に精進していきたいと感じております。

これからもよろしくお願い致します。

関西インカレの所感

3回生/マネージャー 山田梨乃



お世話になっております。

3回生マネージャーの山田梨乃です。

今年の関西インカレでは、25年ぶりの両クラス突破を達成し、部の一員として誇らしく感じています。

私は2日目にスナイプの支援艇に乗り、レース間の動きを陸での計画通りに行いながら、監督やコーチのご指導中にオレンジ旗や時間の確認・共有を担当しました。

その他の日は陸で得点計算やチェックイン・アウト、乗員名簿やオルグ確認などを行い、緊張感を持って取り組みました。小さな確認の積み重ねの大切さを実感し、今後もより良いサポートを目指します。

関西インカレの所感

2回生/470クルー 稲岡郁斗



お世話になっております。

2回生470クルーの稲岡郁斗です。

私はこの関西インカレでは足を引っ張らないという目標をもって臨みました。

1日目は自分が苦手意識を持っている振れる軽風でランニングでスピンを上手く張れませんでした。

2日目は安定してそれなりに吹きスキッパーの市川さんのおかげもあっていい感じに走ることができました。両日とも42条におびえすぎてしまう場面が多く理解が足りていないと感じました。

また、これまでほとんどスキッパーに任せっきりだったので今後はコースの勉強から初め引っ張っていけるクルーとして成長していきたいと思います。

関西インカレの所感

2回生/マネージャー 新子明里



お世話になっております。2回生マネージャーの新子明里です。関西インカレでは1日だけ支援艇に乗らせていただきました。大会に本気で挑むプレイヤーの姿を見て、このチームに貢献できるマネージャーになりたいと改めて強く思いました。コーチや先輩方と同乗し、沖での自分の出来ることの少なさを痛感しましたが、だからこそ陸でのSNS速報など、自分の役割の質を高めようと思いました。今後もチームがより成長できるよう、マネージャーとして支えていきたいと思ひます。

関西インカレの所感

1回生/470クルー 松井将隼



お世話になっております。1回生470クルーの松井将隼です。自分自身は、本大会は1日目、3日目は陸から配信で、2日目は田中弘一さんに出していただいた観覧艇からレースを観覧させていただきました。観覧艇でお世話になった方々、誠にありがとうございました。

本大会を通じて、関西インカレがいかなるものなのか、各大学が関西インカレにかける思い、自分たちが目指すべき舞台を肌で実感することができました。本大会は応援、支援に徹することになりましたが、来年、再来年、また、自分たちの代では、プレイヤーとして再びこの景色を見れるように引き続き頑張っていこうと思ひます。今後ともよろしくお願ひいたします。

おわりに

皆さまの温かいご支援により、遠征準備も順調に進んでおります。

10月30日～11月3日に江ノ島ヨットハーバーで開催される全日本インカレでは、関西代表として精一杯戦ってまいります。神戸大学らしいレースをお見せできるよう、部員一同全力を尽くします。今後とも変わらぬご支援・ご声援のほど、よろしくお願ひいたします。

2025年10月

